# 恵庭市長定例記者会見（R3.3.22）

お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日は、第１回定例会が終了しましたので、議会を終えての所感、並びに今後予定する事業などについて発表させていただきます。

今議会におきましては、追加議案５件を含む３２件の議案について審議いただきました。

その主なものといたしまして、「令和３年度一般会計予算」などがありましたが、その全ての議案についてご承認いただきましたことに、まずもって感謝いたします。

また、一般質問や各常任委員会の中で、市政の各般にわたる課題に関し、ご提言をいただきました。

これら議会からのご指摘を大切にしながら、さまざまな施策の推進を図って参ります。

それでは、本日の発表内容を述べさせていただきます。

**１点目は、「新型コロナウイルス感染症対策」についてであります。**

本市における感染者数は、２０２０年の１年間で７６人でありましたが、２０２１年に入ってからは、３月２１日現在で１５０人の感染者が確認されており、感染者の増加が続いています。その間、飲食店や学校、自衛隊駐屯地、医療機関等でクラスター（感染者集団）が発生するなど、予断を許さない状況が続いております。

市としましては、これまで市民の健康と生活を守るため、感染防止策はもとより、市独自の経済対策など、様々な対策を実施し、取り組んで参りました。本日は、今後予定されている事業などについて説明いたします。

まずは、**「新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種」**についてであります。

本事業については、本年１月の臨時会において補正予算を組み、市民を対象としたワクチン接種体制を構築するため、１月２０日付けで「新型コロナウイルスワクチン接種対策室」を設置し、現在様々な準備を行っているところであります。

国からの指示では、市町村に居住する１６歳以上の者を対象者として、実施期間は

令和３年２月１７日から令和４年２月２８日まで、使用するワクチンは、現段階では、特例承認として薬事承認されたファイザー社のワクチンで準備を進めていくこと等となっております。

恵庭市における基本方針としては、接種後の副反応に対する安全対策の観点から、恵庭市医師会と協議のうえ、原則として「個別接種」で取り進めて参ります。

６５歳以上の高齢者接種の開始にあたり、３月末頃より接種券とともに予診票、予防接種についての説明書などの案内通知を順次発送する準備を進めておりますが、国からの段階的なワクチン供給量に合わせ、医師会と協議のうえ、開始時期を決定していくこととなります。

また、接種受付や問い合わせに対応するサポート機関として、４月上旬よりコールセンターを開設するなど、円滑なワクチン接種に向け、関係機関と調整、協議を重ねながら進めているところであり、詳細につきましては、「広報えにわ４月号」でお伝えしていくと共に、今後、国より示される情報等においても、市ホームページなどで周知して参りたいと考えております。

次に、**「医療従事者等ＰＣＲ検査事業」**についてであります。

この事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の防止と重篤化リスクの高い方と接する機会が多い職場の職員が安心して業務に従事できるよう、市内の医療機関や高齢者施設等の従事者を対象に、任意でＰＣＲ検査を実施するもので、市がＰＣＲ検査キットを一括購入し希望する事業所へ３月２日から５日までの計４日間において配布を行いました。

配布実績としましては、希望のありました１５６事業所に配布したところです。

新型コロナウイルスに関する状況は日々変化しています。今後におきましても市内の感染状況などを見極めたうえで、必要な感染拡大防止策を検討して参ります。

続いて、**「飲食店巡回」**についてであります。

１月末、恵庭市内の飲食店において新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したことを受け、改めて、飲食店に感染防止対策の啓発を実施し、市内の感染防止に寄与することを目的として、「恵庭市飲食店感染防止対策巡回啓発キャンペーン」を実施しました。

巡回は、１月２９日から３月１５日の期間で行い、把握できる範囲の市内飲食店２２４店舗へお伺いして、基本的な防止対策への理解と協力を呼びかけて参りました。

全ての店舗で、基本的対策についてご協力いただいており、中には、独自の対策に取り組む店舗もあり、「感染しない」、「広げない」の意識をお持ちいただいていると認識しているところです。

今後も、各店舗には、引き続き継続可能な取り組みへご協力いただき、消費者の皆

さんにも意識を高めていただきながら、適切な注意を払いつつ、楽しんでいけるよう防止対策への意識啓発に取り組んで参ります。

**２点目は、「令和３年度の組織機構及び人事異動の概要」についてであります。**

令和３年度は、一部組織体制を改編するなど増大する事務事業に対応しつつ、「第５期恵庭市総合計画」や「恵庭市総合戦略」を推進し、市の重点施策の実現を効率よく推進することのできる体制としました。令和３年度は、前年度に１５名の退職（定年退職４名、早期退職４名、自己都合退職７名）があり、昨年度の欠員分を含め１９名の採用を行い、定員管理上の職員数は５２９名となります（令和元年度職員数５３０名）。令和３年度から第３次定員管理計画を推進することから、今後も計画的な採用・配置を行うこととします。

組織改編の主な内容については、既にプレス発表時にお渡ししておりますが、組織全体では課の新設、統合や名称変更を行い、効率的・機能的な行政運営を図る体制としております。

次に人事異動でありますが、今回の異動者総数は２２２名となり、昇任者数は部長級２名、次長級２名、課長級５名、主査級９名の計１８名となりました。

なお、「恵庭市特定事業主行動計画」の中で「女性職員の活躍の推進」を具体的な取り組みとして挙げておりますが、令和３年度の組織において女性管理職は９名であり、管理職に占める女性割合は９．６％となる見込みであります。

新年度におきましても職員が一丸となり、市民の立場でよりよい行政サービスの提供に努めて参ります。

**３点目は、「相生町の住居表示の実施」についてであります。**

令和３年３月１３日に相生町において住居表示事業を実施することと合わせ、「相生町１丁目から４丁目」を新しく設定しております。

事業の実施前は、古くからある地番では、住所が探しにくいといった課題がありましたが、住居表示の実施により、「相生町何丁目何番何号」という、規則性のある住所の並びとなり、誰にとっても分かりやすく住所を探しやすいまちへと変わりました。旧地番が、どのような住居表示に変わったかについては、市民課にお問い合わせ下さい。

**４点目は、「マイナンバーカードの受付窓口等の強化」についてであります。**

マイナンバーカードは、デジタル社会の基盤として、ますます重要な位置づけとなっていくものです。

市民にとっても、利便性が向上するマイナンバーカードの取得を今後さらに促進するため、新年度の早いうちに交付窓口を増設するほか、コールセンターの設置とオン

ライン化や申請時のみ来庁すればマイナンバーカードを取得することができる方法などを進めて参ります。

**５点目は、「すずらん保育園の民営化」についてであります。**

これまでの市立「すずらん保育園」の民営化によって、新たな事業者となりました「学校法人鶴岡学園」が、漁町に所在する現在のすずらん保育園隣に建設しておりました新園舎が、先般完成いたしました。

令和３年４月１日より、事業者による「幼保連携型認定こども園北海道文教大学附属幼稚園」が開設され、定員は１号認定２０名、２・３号認定９０名の合計１１０名で、年度当初の４月１日には１号認定２名、２・３号認定９３名、合計９５名の入園を予定しております。

**６点目は、「花の拠点「はなふる」の賑わい創出」についてであります。**

昨年１１月１１日にオープンしました、花の拠点「はなふる」につきましては、いよいよ初めての春を迎え、花のシーズンの到来となります。

今後の管理運営にあたりましては、「はなふる」が花の観光拠点として、市内外から多くの人が訪れ、休日のみならず平日も賑わいが感じられるよう、様々な施策に取り組んで参ります。

主な取組としましては、７つのテーマガーデンや道と川の駅、農畜産物直売所、こどもの遊び場「りりあ」など、「はなふる」の魅力を効果的に発信するともに、花に関連したイベントの開催や飲食・手づくり品等の店舗の出店を促すなど、誘客や賑わいの創出につなげていくとともに、観光パンフレットやフードマップ、新たに導入するシェアサイクルなどを活用しながら、市内の観光施設や商業施設、飲食店等への周遊を促進して参りたいと考えております。

市民団体や花関係団体の皆様には、イベントの開催や市民活動の場として、センターハウスの空きスペースや、ガーデンエリア、集会施設などについて大いに活用していただき、市民の憩いの場として賑わいと楽しさ溢れる「はなふる」となるようお願い致します。

以上で、私からの発表は終わらせていただきます。
引き続き、教育長からの発表があります。

教育長から発表

**続いて、「GIGA スクール推進事業における１人１台端末の配置状況」についてであります。**

１人１台端末につきましては、新年度から活用を図るべく各小中学校への配置準備を進めているところであります。本年度は、全児童生徒の約３分の２にあたる、３，７９９台を配置することとし、その内２，４１４台の納品を既に受けており、残りの端末につきましても近日中に納品される予定となっております。

今後は、各小中学校の校内ＬＡＮやネットワーク機器の設置を順次行うとともに、端末の使用テスト等を行いながら準備が整った学校から１人１台端末の使用を開始していく予定であります。なお、校内ＬＡＮとネットワーク機器の設置にかかる工期は３か月程度と見込んでおります。

**続いて、「（２０２１年）恵庭市新成人のつどい」についてであります。**

１月に開催予定でありました「（２０２１年）恵庭市新成人のつどい」につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、５月に延期することで周知しておりました。現在、令和３年５月２日㈰の開催に向けて準備を進めており、対象となる新成人の方々への案内を、今月中にはがきやホームページにてお知らせすることとしております。

開催内容につきましては、新成人による実行委員会において検討しているところであり、今回は市民会館大ホールと中ホールの２つの会場を使用して、入れ替え制で式典のみの開催を予定しております。また、マスクの着用や換気・消毒の徹底、検温の実施のほか、新成人以外の来場者を制限するなど、新成人の方々が安心して晴れの日を迎えられるよう、感染対策を万全にして開催する予定であります。

**続いて、「図書館恵庭分館カードレスＩＣ化事業」についてであります。**

恵庭駅前の複合施設「えにあす」内にあります、図書館恵庭分館は、カードレスＩＣ化図書館として、今月２日にリニューアルオープンいたしました。

蔵書管理をバーコードからＩＣに変えたことにより、貸出手続きをしなくても施設内の様々な場所で本の閲覧ができるようになりました。さらに貸出手続き、返却手続きが、お待たせせずに一瞬でできるようになりました。

さらには、本の貸出や予約に「手のひら静脈認証システム」を導入いたしました。これは、手のひらを専用機にかざすだけで、カードレスで、本の貸出や予約できるシステムで、より気軽に図書館を利用できるようになりました。これは道内でも初めての事例となります

また、タブレットや大型タッチモニターを設置し、電子雑誌や電子図書、デジタル化された新聞なども閲覧できるようになっています。

●質疑応答

発表項目について

（記者）４月１日付け人事異動について、北海道から派遣となる人事異動者は何名か？また、北海道からの派遣による人事異動を行う理由は？

（市長）北海道から派遣される部長職は２名です。１人は、緑化フェア推進室のトップとして派遣いただいた。緑化フェアは、主催者が北海道と恵庭市、都市緑化機構ですので、北海道と連携するためです。もう１人は建設部長です。建設行政については北海道と関連する事業があるので、事業の円滑に進めることから派遣いただいた。例えば、道道の自転車、道道基線通り、ルルマップ川などの事業が目白押しですから、北海道との連携を深めながら事業を進めたい。

（記者）副市長人事について、選出の理由は？

（市長）現副市長が３月いっぱいで退任となることから、新たな人選を行った。新副市長は、人格、識見ともに優秀ということから選任したいと考えた。

（記者）人事について、緑化フェア推進室を大幅に増員しているとのことだが、準備室から推進室に変わるにあたり、人員をどのくらい必要とされたのかということと、増員したねらいは？

（総務部長）現在の準備室は７人で、新年度からの推進室は２０人で業務を行っていく。式典関係や会場の準備などを急ピッチで準備しなければいけないことから、現状の約３倍の人員体制とした。

（市長）短い準備期間なので、広告宣伝や協賛会場との連携、会場づくり、協賛金を集めるための協力体制をつくることなど、非常に多い業務となる。北海道との連携はもちろん、皇室が来られる予定となれば警備の関係で北海道警察との調整も出てくると思う。

（記者）GIGA スクールの１人１台端末の配置状況について、校内 LAN とネットワーク機器の整備が整った学校から配置するとのことであったが、具体的にどの学校から配置するのかが決まっていれば教えていただきたい。６月中の全校に配置するということでよろしいか？

（教育長）工事の関係があるので、どの学校からというよりは、整備が終わった学校から配置していく。工事期間は６月に全部終了する見込みですので、６月にはすべて使える予定。

（記者）図書館恵庭分館カードレス IC について、本館で導入する予定はあるのか？また、最初に本館で導入をしなかった理由は？

（教育長）恵庭分館は複合施設の中にあり、図書館の枠から出て、窓辺で本を読みたい、椅子のある所で読みたいとなった時には、本を借りないと図書館の外へ持ち出して見ることができなかった。そういった市民の皆さんの要望やこれからの IC 化を踏まえて、要望に応えるために、恵庭分館の読書環境をよりゆったり、広く

したところです。

（記者）家に持ち帰って本を読むことは想定されていないのか？

（教育長）手のひら認証で本を置いて、認証されると本は持ち帰ることができる。認証せずに本を持ち出すとブザーが鳴ってしまう。屋外に持ち出さない限りブザーは鳴らないので、自由に見ることができる。

（記者）北海道内では、手のひら静脈認証システム、IC 化セキュリティゲートは道内初か？

（教育部長）道内では初めてです。

（記者）はなふるの賑わい創出について、新年度で初めて通年営業となるが改めて期待していることと課題に感じていることを教えていただきたい。もう一点は、旧かのなの利活用について、今業者等を決めているところだと思うが、いつ頃決まるのか？

（市長）７つのガーデンがあるので、春になるのを楽しみにしている。恵庭は市民主導での「花のまち」ですので、集会施設を活用した講習会や花の植え方等のセミナーなどを開催することで市民にとっても素晴らしいものとなると考えている。また、市民団体がガーデンエリアを活用したコンサートやイベントをしていただき、多くの方々に来ていただき、「はなふる」を見ていただきたい。課題は特に見当たらないが、これから訪れる多くの方々の声を聞きながら、課題があれば解決していきたいと考えている。

旧かのなにつきましては、先般選定作業を行い、近日中に選定者の発表を行う予定。

（記者）コロナの関係について、今年に入って市内の感染者が急増しており、その要因の一つとして恵庭第一病院によるクラスター（感染者集団）にあるのかなと思うが、終息が難しくなっていることの原因は何なのか？　また、現状はどうなっているのか？

（市長）専門的な部分もあるので、なぜこれほど拡大したのかについてはコメントできないが、医療従事者が一生懸命頑張っていたということはわかっている。しかし、広がってしまったことは病院関係者にとっても残念なことであったと思う。

（保健福祉部長）現在、定期的に入院患者と職員、現場に入る委託業者のスクリーニング検査を行っていて、朝と夕方に対策会議を行い、同じ法人の医師と保健所と市の職員も入ったリモート会議を行っている。最短で２６日の終息に向けて努力している。

（記者）コロナに関する飲食店巡回の結果について、２２４件を巡回した結果が、すべての店舗が７項目以上対応済みとなっていて、本当なのか？という気がしてならない。職員が巡回してみて、恵庭の店は大丈夫だと言える状況なのか、もしくは、対策が甘いところがあって、不安な部分があるのかを伺いたい。

（経済部次長）巡回の結果については、ほぼチェック項目をクリアしていた。店に行って感じたこととして、店によっては７つの項目以外にも独自の対策をしているところが多くあった。我々として対策をしていると認識している。

**その他**

（記者）LINE を使った行政サービスについて、恵庭市で何か利用しているものはあるのか？

（総務部長）調査したところ、花の関係でのグループ LINE と、緑化フェアの連絡網として使っていたが現在中止している。その他、内部向け、外部向けを含めて現在全庁的に調査している。